

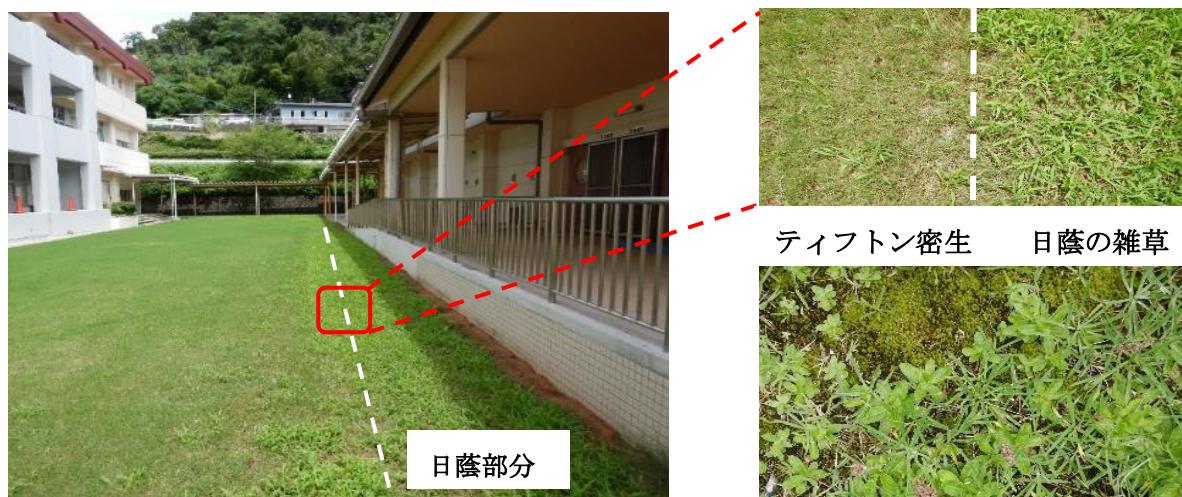
建物の日蔭部分の芝生の補修



芝生に限らず植物は光合成をしなければ生きていけないので、太陽の光は必要不可欠です。一般に、芝生は最低でも半日程度の日照が必要とされ、とくにティフトンなどの夏シバは冬シバよりも多くの日照が必要（6時間以上）と言われています。校庭や園庭では建物や樹木が南側にあると日蔭になる部分に雑草やコケがたくさん生えることがしばしば見受けられます。このような日照時間が短い場所の芝生を修復する一つの解決策として、永年性の冬シバ（クリーピングベントグラス）を活用する方法を提案します。

1. 日蔭部分への雑草の侵入

ティフトンやコウライシバなどの夏シバは、夏の暑さに強い反面、多くの日照を必要とするため日蔭では生育が不十分で、どうしても隙間の多い疎らな芝生になり、そこにコケや雑草が侵入し易くなります。コケ以外の植物としては、日蔭と湿り気の程度により、一年生のメヒシバの他にチチコグサ、ブタナ（タンポポモドキ）、ムラサキサギゴケなどの半日蔭でも生育する多年生植物が侵入して日蔭部分を占領する事例が多くみられます。このようなコケや雑草の侵入を防ぐには、日蔭でもよく生育して緻密な芝生を形成してコケや雑草の侵入に対抗できる永年性のシバ草を導入することが有効であると考えられます。



ティフトン密生 日蔭の雑草

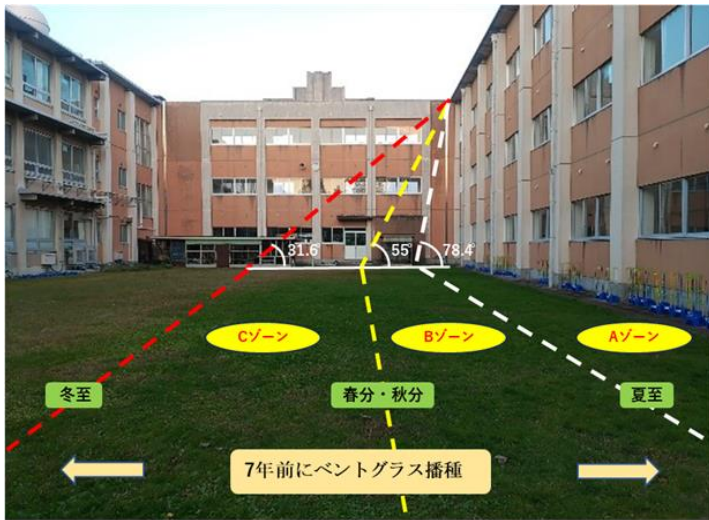
日蔭に侵入したコケ、チチコグサ類

2. 夏シバが生育不良となる日蔭の範囲

日蔭の範囲は建物の高さ・方角と太陽高度で決まります。また太陽高度は緯度の他に季節と時刻によっても刻々と変化しますが、夏シバの生育が著しく不良となる日蔭の範囲は、以下に述べるとおり『夏至の正午に日蔭になる部分』であると思われます。これは、これまでのティフトン芝の監察結果から判断した目安とお考え下さい

建物が南側にある場合、夏シバが生育不良となる日蔭の範囲は、建物の高さの約1/5（20％）に相当する北側部分（北緯35度：下の写真のAゾーン）です。なお、東側や西側に障害物が無く建物が東西方向に向いている場合、このAゾーンには、日の出から太陽が真東に来るまでの時間帯（6月下旬：最大3.5時間）は直射光が射しこみ、夕方にも同様の光が西側から当たりますが、斜めの弱い光なので夏シバにとってそれほど有効ではありません。なお、東側や西側に建物がある場合は、こ

の6か月間の朝夕の光も遮られるため、Aゾーンの建物直下の角地（南東・南西隅）は直射光がほとんど当たらない最も厳しい場所になります。



Cゾーンでは、直射光が当たらないのは秋分から春分の期間であり、春分～秋分までの半年間は確実に直射光が差し込むので夏シバの生育には全く問題がありません。中間のBゾーンは、春分～秋分にかけて直射光の当たる期間がかなり長く、過去の芝生化事例においてもティフトンが正常に生育していることが観察されており、夏シバの生育にとっては安全な区域と言えます。

桜などの並木が南側にある場合は、前述の建物の場合と同様に樹高の1/5の範囲が日蔭の影響を受けます。単独の樹木の場合は、樹冠の真下以外では芝生の生育にほとんど問題はありません。

建物の方向が南北に長い場合は、少なくとも半日は直射光が当たるので夏シバの生育に大きな問題はありませんが、正午の前後1～2時間に直射が当たらない建物直下ではやや生育不良となる部分が発生します。また当然のことながら、周囲を建物で囲まれた中庭は、東西の間隔が狭いほど日蔭の影響はより深刻なものとなります。

以上のことから、ティフトン芝においては、建物や並木の北側の『夏至の正午に日蔭になる部分』が日照不足となり、そのため緻密なターフが形成されずにコケや雑草が侵入し易くなるので、何らかの有効な対策を講ずることが望まれます。

3. クリーピングペントグラス (*Agrostis stolonifera* L. ハイコヌカグサ)



ライグラス
400～500粒/g

ペントグラス
13,000粒/g



日蔭に侵入するコケや雑草に対抗して旺盛に生育し芝生を修復する植物として、耐陰性と匍匐性を備えたクリーピングペントグラスを導入することをお勧めします。クリーピングペントグラスは冬シバの中では耐暑性に優れ、西日本においても日蔭になる場所での越夏は容易であり、一度植え付ければ半永久的に利用することが出来ます。また、クリーピングペントグラスの種子(1粒 0.08 mg:ライグラスの1/30)は非常に小さいため、芝生に直接播種してもうまく育たないことが多いので、2カ月ほど育てたポット苗を春(5月)または初秋(10月)に移植することをお勧めします。ポット苗はティフトンの場合と同様に小さな穴を掘ってm²当たり16～25株を移植して下さい。

クリーピングペントグラスによる日蔭対策の方法やポット苗については、芝生の全景と日蔭部分のクローズアップ写真(雑草識別)を添えてNPO グリーンスポーツ鳥取にお問い合わせください。

(NPO グリーンスポーツ鳥取 中野 淳一)



ポット苗
(播種後 1 か月)



移植後 3 ヶ月

クリーピングベントグラス播種後 10 年目



ハイゴケ



ジャゴケ



ブタナ (タンポポモドキ)



チチゴグサの仲間



ムラサキサギゴケ



チドメグサ